



METROLOGIC INSTRUMENTS, INC.

MS7580 Genesis™

プレゼンテーション・エリア・イメージャ  
取付およびユーザー・ガイド



## **著作権**

©2008 by Metrologic Instruments, Inc. All rights reserved.

Metrologic Instruments, Inc.は、本書に関する全ての権利を留保します。論評家が論評にて簡潔な一節を引用するか、もしくは 1976 年の著作権法の規定に記載されている以外は、事前の書面による承諾なしに本著作の一部をいかなる形式または手段にても複製、送信、格納することを禁じます。

## **商標**

Metrologic は、Metrologic Instruments, Inc.の登録商標です。本書に記載の製品は、本書をもって Metrologic Instruments, Inc.または各会社の商標、登録商標、その他と認識します。

## 目次

---

まえがき .....	1
製品概要 .....	1
ベースキットのコンポーネント .....	2
オプションの付属品 .....	2
MS7580 のコンポーネント .....	4
ケーブルの取付けと取外し .....	5
ラベル .....	6
メンテナンス .....	6
取付け .....	7
RS232 .....	7
キーボード・インターフェース .....	8
RS485 .....	9
USB .....	10
ウォール・マウント .....	12
PN 46-00911、壁据付けアダプタ・キットのコンポーネント .....	12
PN 46-00913、壁据付けキットのコンポーネント .....	12
PN 46-00911、取付け .....	13
PN 46-00913、取付け .....	15
エリア・イメージャの操作 .....	16
操作モード .....	16
音声表示 .....	18
視覚表示 .....	19
失敗モード .....	20
視野 .....	21
最小バーコード・エレメント幅別読取深度 .....	22
IR 検知 .....	23
トラブルシュート・ガイド .....	24
設計仕様 .....	28
アプリケーションとプロトコル .....	30
設定モード .....	31
ファームウェアのアップグレード .....	32

スキャナおよびケーブル端子 .....	33
スキャナのピン・アサインメント .....	33
ケーブル・コネクタの設定（ホスト端） .....	34
ケーブル・コネクタの設定（ホスト端） .....	35
限定保証 .....	36
法令遵守 .....	37
安全性 .....	37
EMC .....	38
特許 .....	40
索引 .....	41


## まえがき

### 製品概要

MS7580 Genesis™は、優れた画像品質を実現する高解像度 CMOS イメージ・センサを搭載した高性能プレゼンテーション・エリア・イメージ・バーコード・スキャナです。Genesis は、1D および 2D の両バーコード体系を信頼性高くデコーディングするため、Omniplanar 社の Swiftdecoder™ ソフトウェアを使用しています。画像を鮮明に捕え、.jpg、.bmp、.tiff などさまざまな出力形式で送信可能です。

オムニディレクション（全方向）の読取り機能と優れたモーション耐性により、1D、GS1 DataBar™（RSS）、PDF417、microPDF、Composite、Matrix、Postal Codes といった標準的なあらゆるバーコード体系の読取りに対応しています。ファームウェアの更新はフラッシュ・メモリに簡単にロードできます。

MS7580 は、大量の読取り容量を提供し、スキャナの視野に物体がかざされると、即座にスキャナを起動する物体検知センサ（IR）を内蔵しています。

Genesis™	サポートされるインターフェース
MS7580 – 118	サポートされるインターフェースには次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• RS232</li><li>• IRS485</li><li>• USB♦</li><li>• キーボード・インターフェース</li></ul>
♦ USBはキーボード・エミュレーション・モード、双方向シリアル・エミュレーション・モードまたはIBM OEMに設定可能です。USBのデフォルト設定は、キーボード・エミュレーション・モードとなっています。	
 標準的なモデルは、1D、PDF および 2D の全バーコードの読取り機能を備えて出荷されます。しかし、メトロロジック社が提供する正当な制限付きライセンスがなければ、デコード機能等は制限され、ユニットは PDF、2D または OCR フォントのデコード機能など主要な機能をサポートしません。標準ユニットに含まれていないいくつかの主要な機能の制限付きライセンスを購入したい場合は、購入時に指定するか、詳細についてメトロロジック社の担当者にご連絡ください。	

## まえがき

---

### ベースキットのコンポーネント

ベースキット	
部品番号	説明
MS7580-118	MS7580 Genesis プレゼンテーション・エリア・イメージャ
00-02544	MetroSelect® Single-Line設定ガイド*
00-05252	エリア・イメージ・バーコード・スキャナ 補足設定ガイド*
00-02290	MS7580 プレゼンテーション・エリア・イメージャ 取付およびユーザー・ガイド*

\* メトロロジック社のwebサイト ([www.metrologic.com](http://www.metrologic.com)) で入手可能

### オプションの付属品

オプションの付属品	
部品番号	説明
AC から DC への変圧器 – 調整 12VDC @ 1.25 A 出力	
46-00862	90VAC から 255VAC 米国、カナダ、日本
46-00863	90VAC から 255VAC 欧州
46-00864	90VAC から 255VAC 英国
46-00865	90VAC から 255VAC 中国
46-00866	90VAC から 255VAC オーストラリア

使用している個々のプロトコル用に別の品目も注文可能です。追加品目を注文する場合は、ディーラー、販売代理店またはメトロロジック社の顧客サービス部門（1-800-ID-METRO または 1-800-436-3876）までご連絡ください。

## まえがき

### オプションの付属品

オプションの付属品	
部品番号	説明
	<b>ケーブルの互換性に関する注意事項</b> MS7580 は、12VDC エリア・イメージャ用に設計されたケーブルを必要とします。 以下に記載する指定のケーブル（ケーブル・シリーズ 5S-5Sxxx）以外のケーブルは使用しないでください。不正なケーブルの使用により発生した損害は 36 ページに示す限定保証の対象となりません。
5S-5S000-3	電源ジャック内蔵の RS232 12V VLink ケーブル 短いストレイン・リリーフ付きの黒いストレートケーブル
5S-5S002-3	アダプタ・ケーブル付きのキーボード・インターフェース 12V VLink ケーブル 短いストレイン・リリーフ付きの黒いストレートケーブル
5S-5S006-N-3	12V ホスト電源用の RS485 直接ケーブル 短いストレイン・リリーフ付きの黒いストレートケーブル
5S-5S213-N-3	12V ホスト電源用の USB 直接ケーブル ロック式 Plus-Power™ タイプ A コネクタ 短いストレイン・リリーフ付きの黒いストレートケーブル
5S-5S235-3	電源ジャック内蔵の USB 12V VLink ケーブル 非ロック式のタイプ A コネクタ 短いストレイン・リリーフ付きの黒いストレートケーブル
46-00911	MS7580 ウォールマウント・アダプタ・キット
46-00913	MS7580 ウォールマウント・キット
00-05250	MS7580 ウォールマウント据付ガイド

使用している個々のプロトコル用に別の品目も注文可能です。追加品目を注文する場合は、ディーラー、販売代理店またはメトロロジック社の顧客サービス部門（1-800-ID-METRO または 1-800-436-3876）までご連絡ください。

MS7580 のコンポーネント

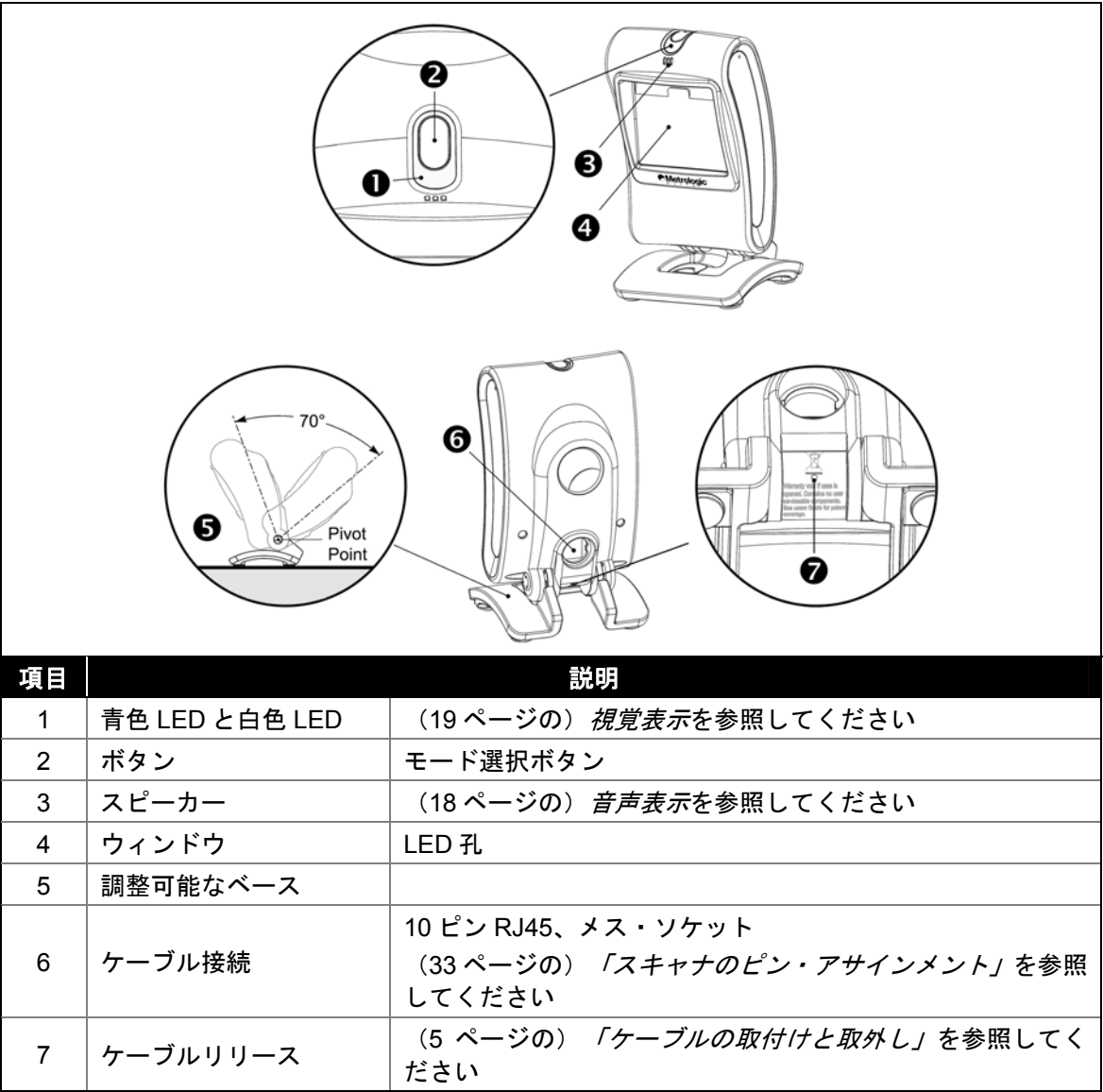


図 1. スキャナのコンポーネント



## まえがき

---

### ケーブルの取付けと取外し

#### 取付け

- i** 重要：ケーブルが完全に差し込みされていないと、ユニットへの電力供給が間欠的になることがあります。

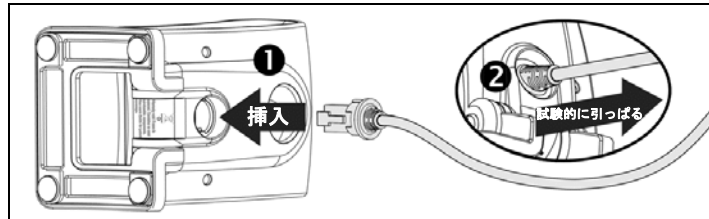


図 2

1. ケーブルの 10 ピン RJ45 の端を MS7580 上のソケットに挿入してください。コネクタのロックがかかると、カチッという音が聞こえます。
2. ケーブルを緩やかに引いて、ケーブルが取付けられたことを確認してください。

#### 取外し

ユニットからケーブルを取外す前に、ホスト・システムの電源を切り、ケーブルから電源を切断することをお勧めします。

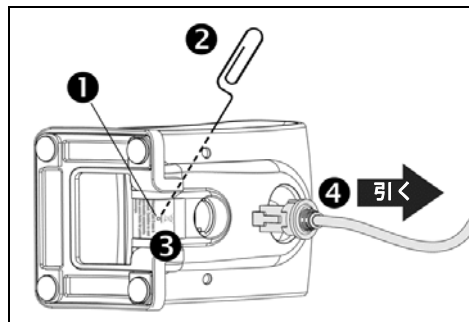


図 3. ケーブルの取外し

1. ケーブル付近のユニット上面にある小さなピン穴を見つけてください。
2. 普通のクリップを上図に示すような形に曲げます。
3. クリップ（または他の小さな金属のピン）を小さなピン穴に挿入してください。
4. ロックが解除されると、かすかな「クリック」音が聞こえます。ケーブルを緩やかに引いて、ユニットからケーブルを取外します。

## まえがき

### ラベル

各 MS7580 の出力ウィンドウの上部付近にラベルがあります。このラベルには、ユニットのモデル番号、製造日、シリアル番号、CE、注意書きが記載されています。追加の情報はユニットのケースの下側に刻印されています。ラベルおよび刻印文の例とそれらの場所を次の図に示します。

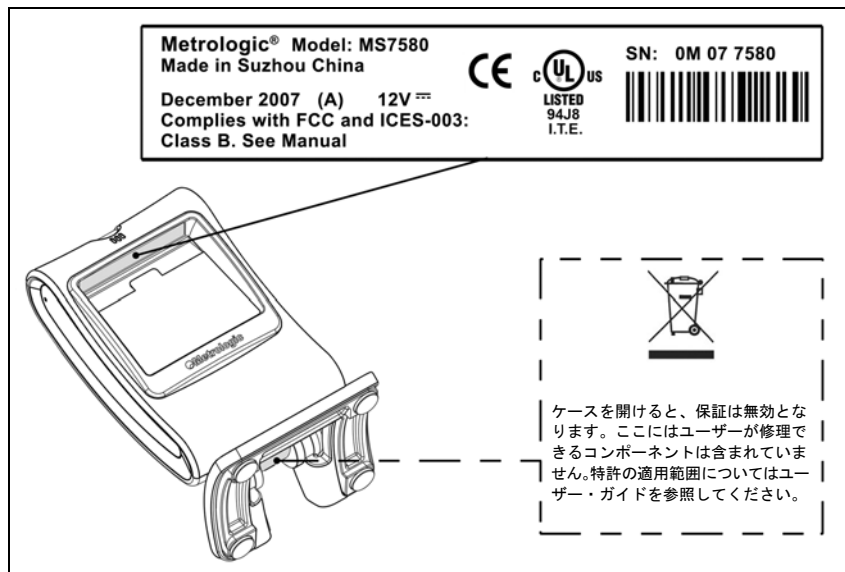


図 4. ラベルと刻印内容の例



#### 注意

該当する規格への適合を維持するため、スキャナに接続される回路はすべて、EN/IEC 60950-1 に従って安全特別低電圧（SELV: Safety Extra Low Voltage）の要件を満たさなければなりません。

規格 CSA C22.2 No. 60950-1/UL 60950-1 および EN/IEC 60950-1 への適合を維持するため、電源は、制限付き電源の該当する性能要件を満たす必要があります。

### メンテナンス

ユニットのウィンドウの汚れやごみはユニットの性能に影響を与える可能性があります。ウィンドウを掃除する必要がある場合は、アンモニアを含まないガラス用のマイルドクリーナーのみを使用してください。ウィンドウを掃除する際には、無リント非研磨剤クリーニング・クロスにクリーナーを吹きつけ、ウィンドウを丁寧に拭きます。

ユニットのケースを掃除する必要がある場合は、強力な酸化剤を含まないマイルドな洗剤を使用してください。強力な洗剤によって色落ちやユニットの外側に損傷が発生したりすることがあります。

## 取付け

### RS232

1. ホスト装置の電源を切ります。
2. VLink ケーブルの 10 ピン RJ45 のオス端を MS7580 上の 10 ピンソケットに差し込んでください。コネクタのロックがかかると、カチッという音が聞こえます。
3. 通信ケーブルの 9 ピン D タイプコネクタをホスト装置の適切な COM ポートに接続します。
4. 12V電源♦をVLinkケーブルの電源ジャックに差し込んでください。



電源の AC 入力要件を確認し、電圧が AC コンセントに一致しているかどうかを確認してください。コンセントは装置の付近にあり、簡単に届くようであればなりません。

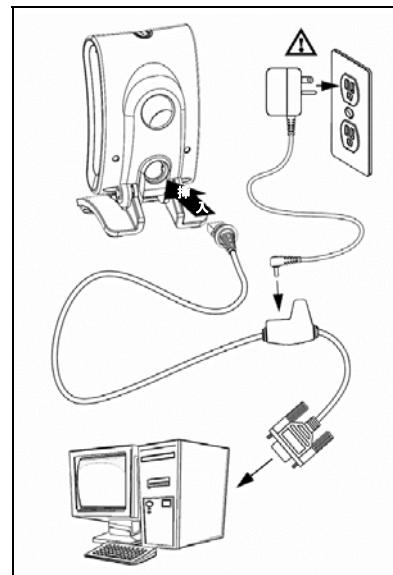


図 4

5. AC電源♦を変圧器に接続してください。
  6. MS7580 の初期化が開始されます。すると、白色 LED と青色 LED が約 3 秒間交互に点滅を繰り返します。スキャナの初期化が完了すると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、ユニットの白色 LED が 3 回点滅します。低輝度の青色 LED は、点灯したままの状態となります。
  7. ホスト装置に電源を投入してください。
- ♦ MS7580 はRS232 の操作に 12Vの電力を必要とします。メトロロジック社はMS7580 と共に出荷される外部電源の使用を推奨します。



スキャナをホスト・システム上のポートに差し込んだとしても、読取られた情報がホスト・システムに正しく伝送されることが保証されるわけではありません。スキャナは、デフォルト設定値で設定されて工場から出荷されます。スキャナ設定の変更については、MetroSelect® Single-Line設定ガイド (MLPN 00-02544) またはMetroSet2 のヘルプ・ファイルを参照してください。さらに、スキャナとホスト・システムが同じ通信プロトコルを使用していることも確認してください。



6 ページの注意を参照してください。

## 取付け

### キーボード・インターフェース

1. ホスト装置の電源を切ります。
2. VLink ケーブルの 10 ピン RJ45 のオス端を MS7580 上の 10 ピンソケットに差し込んでください。コネクタのロックがかかると、カチッという音が聞こえます。
3. ホスト装置からキーボードを切断してください。
4. 通信ケーブルの「Y」端をキーボードとホスト装置のキーボード・ポートに接続します。必要であれば、スキャナと共に支給されているオス／メスのアダプタ・ケーブルを使用して正しく接続してください。
5. 12V電源（必須）♦をVLinkケーブルの電源ジャックに差し込んでください。



電源の AC 入力要件を確認し、電圧が AC コンセントに一致しているかどうかを確認してください。コンセントは装置の付近にあり、簡単に届くようであればなりません。

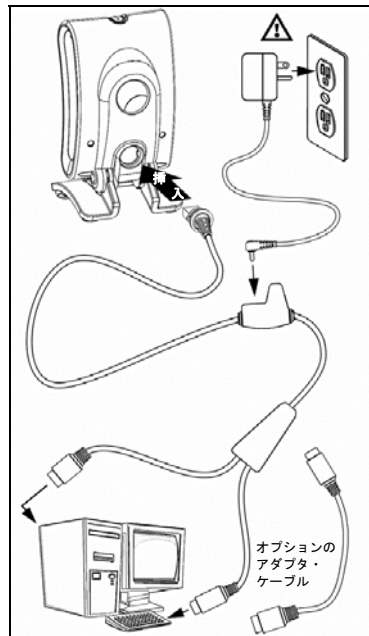


図 4

6. AC 電源を変圧器に接続してください。
7. MS7580 の初期化が開始されます。すると、白色 LED と青色 LED が約 3 秒間交互に点滅を繰り返します。スキャナの初期化が完了すると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、ユニットの白色 LED が 3 回点滅します。低輝度の青色 LED は、点灯したままの状態となります。
8. ホスト装置に電源を投入してください。

♦ MS7580 はキーボード・インターフェースの操作に 12Vの電力を必要とします。



スキャナをホスト・システム上のポートに差し込んだとしても、読取られた情報がホスト・システムに正しく伝送されることが保証されるわけではありません。スキャナは、デフォルト設定値で設定されて工場から出荷されます。スキャナ設定の変更については、MetroSelect® Single-Line設定ガイド (MLPN 00-02544) またはMetroSet2 のヘルプ・ファイルを参照してください。さらに、スキャナとホスト・システムが同じ通信プロトコルを使用していることも確認してください。



6 ページの注意を参照してください。

## 取付け

### RS485

1. ホスト装置の電源を切ります。
2. ケーブルの 10 ピン RJ45 のオス端を MS7580 上の 10 ピンソケットに差し込んでください。コネクタのロックがかかると、カチッという音が聞こえます。
3. ケーブルのもう一方の端をホスト装置♦の適切なCOMポートに接続します♦。
4. ホスト装置に電源を投入してください。
5. MS7580 の初期化が開始されます。すると、白色 LED と青色 LED が約 3 秒間交互に点滅を繰り返します。スキャナの初期化が完了すると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、ユニットの白色 LED が 3 回点滅します。低輝度の青色 LED は、点灯したままの状態となります。

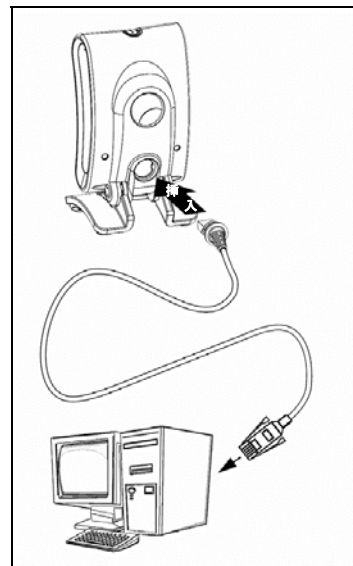


図 4

♦ MS7580 はRS485 の操作に 12Vの電力を必要とします。



スキャナをホスト・システム上のポートに差し込んだとしても、読取られた情報がホスト・システムに正しく伝送されることが保証されるわけではありません。スキャナは、デフォルト設定値で設定されて工場から出荷されます。スキャナ設定の変更については、MetroSelect® Single-Line設定ガイド (MLPN 00-02544) またはMetroSet2 のヘルプ・ファイルを参照してください。さらに、スキャナとホスト・システムが同じ通信プロトコルを使用していることも確認してください。



6 ページの注意を参照してください。

## 取付け

### USB

1. ホスト装置の電源を切ります。
2. USB ケーブルの 10 ピン RJ45 のオス端を MS7580 上の 10 ピンソケットに差し込んでください。コネクタのロックがかかると、カチッという音が聞こえます。
3. ケーブルの USB 端をホストの USB ポートに差し込んでください。

ステップ 4 と 5 は、電源ジャックが内蔵された VLink ケーブルと 12V の外部電源に関する手順です。ホストから 12V の電力を受け取る USB 直接接続ケーブル♦の場合は、ステップ 6 に進んでください。

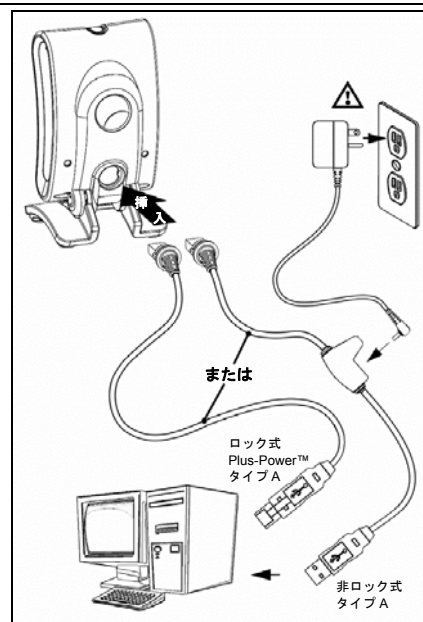


図 4

4. 電源を VLink ケーブルの電源ジャックに差し込んでください。



電源の AC 入力要件を確認し、電圧が AC コンセントに一致しているかどうかを確認してください。コンセントは装置の付近にあり、簡単に届くようであればなりません。

5. AC 電源を変圧器に接続します。
  6. ホスト装置に電源を投入してください。
  7. MS7580 の初期化が開始されます。すると、白色 LED と青色 LED が約 3 秒間交互に点滅を繰り返します。スキャナの初期化が完了すると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、ユニットの白色 LED が 3 回点滅します。低輝度の青色 LED は点灯したままの状態となります。
- ♦ MS7580 は、パススルー機能が機能するにはホストから 12V の電力を必要とします。USB ケーブルのオプション一覧については、3 ページを参照してください。



6 ページの注意を参照してください。

## 取付け

---

### USB



MS7580 は、Full Speed USB ハードウェアの要件を満たします。

USB インターフェースはキーボード・エミュレーション・モード、双方向シリアル・エミュレーション・モードまたは IBM OEM に設定可能である。USB インターフェースのデフォルト設定は、キーボード・エミュレーション・モードとなっています。



USBシリアル・エミュレーション・モードまたはIBM OEM用のMS7580 の設定については、MetroSelect<sup>®</sup> Single-Line設定ガイド (MLPN 00-02544) のUSBの項目を参照してください。スキャナをホスト・システム上のポートに差し込んだとしても、読取られた情報がホスト装置に正しく伝送されることが保証されるわけではありません。スキャナは、デフォルト設定値で設定されて工場から出荷されます。スキャナ設定の変更については、MetroSelect<sup>®</sup> Single-Line設定ガイド (MLPN 00-02544) またはMetroSet2 のヘルプ・ファイルを参照してください。さらに、スキャナとホスト・システムが同じ通信プロトコルを使用していることも確認してください。

## ウォール・マウント

### PN 46-00911、壁据付けアダプタ・キットのコンポーネント

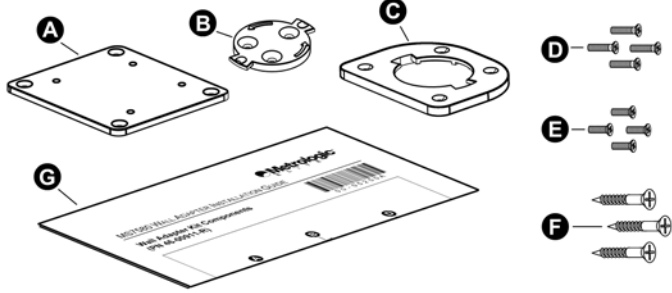
		
項目	説明	数量
A	ベース・アダプタ・プレート	1
B	ロック・プレート	1
C	ベース・カバー	1
D	M3 x .5 - 10 mm 平頭プラスネジ	4
E	M3 x .5 - 8 mm 平頭プラスネジ	4
F	#7 x 1.00" FHP 木製ネジ	3
G	MS7580 ウォール・マウント取付けガイド	1

図 5

### PN 46-00913、壁据付けキットのコンポーネント

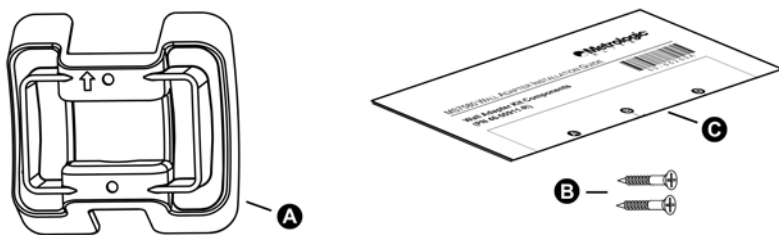
		
項目	説明	数量
A	ウォール・マウント	1
B	#7 x 1.00" FHP 木製ネジ	2
C	MS7580 ウォール・マウント取付けガイド	1

図 6



## ウォール・マウント

### PN 46-00911、取付け

1. MS7580 の底面からゴム製の脚を取り除きます。
2. 4 つの M3 x .5 x 10 mm ネジ (■) でベース・アダプタ・プレートユニットの底面に取付けてください。
3. 4 つの M3 x .5 x 8 mm のネジ (●) でベース・プレートをベース・アダプタ・プレートに取付けてください。

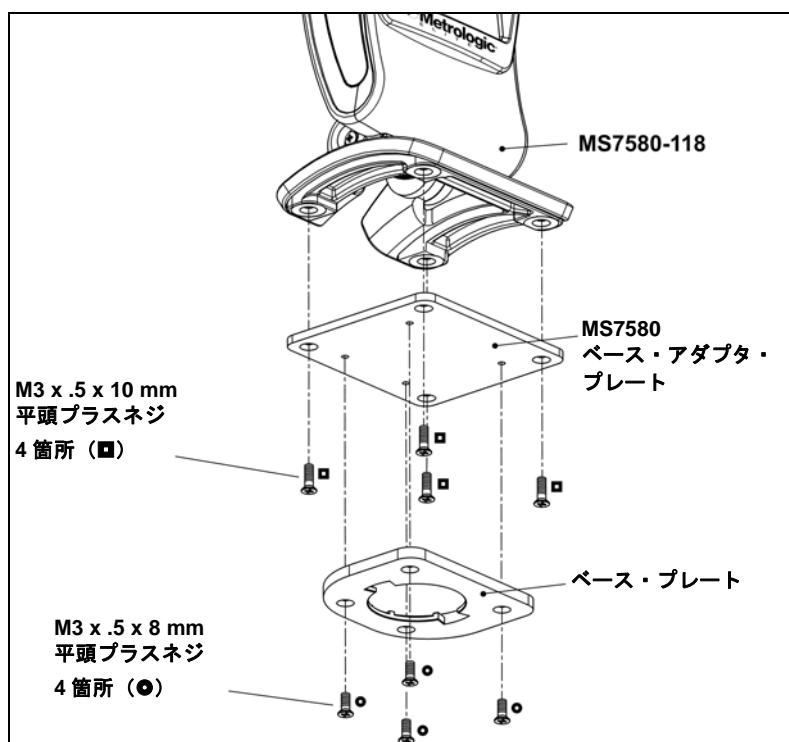


図 7

4. ロック・プレートを取り付ける前に、ロック・プレートが完全に取り付けられた状態のユニットの位置を検討します。ロック・プレート上には2つのタブがあります。これらのタブは、ユニットが所定の位置にロックされたときに向く2つの方向を示しています。

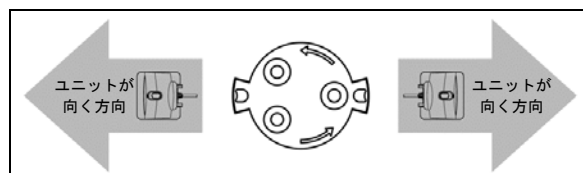


図 8

## ウォール・マウント

5. ロック・プレートをガイドとして使用して、取付け面に3つの#39パイロット穴（A）を開けます。

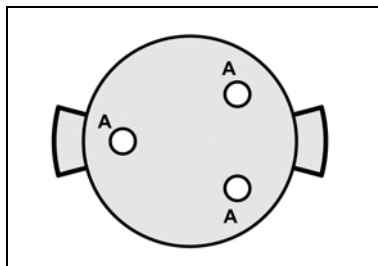


図9. ロック・プレート（正しい縮尺で描かれていません）

6. 支給の3つの#7木製ネジ（◆）でロック・プレートを壁に固定します。

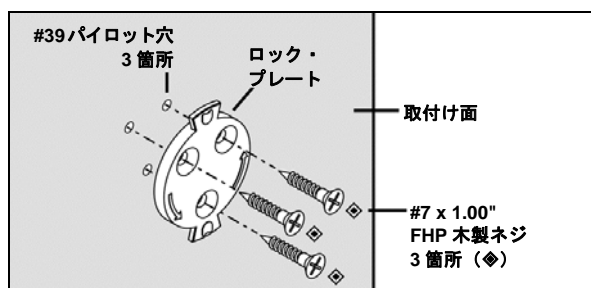


図10

7. ベース・プレートがロック・プレートと面一になるようにロック・プレート上にかぶせてユニットを位置付けます。ユニットを90度逆時計周りに回転させ、所定の位置にロックしてください。

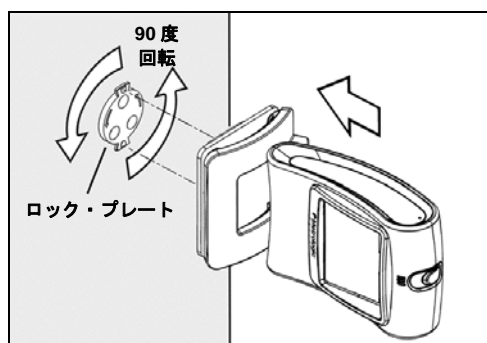


図11

## ウォール・マウント

### PN 46-00913、取付け

1. 取付け面に2つの#39パイロット穴を開けてください。パイロット穴は垂直方向に互いに44 mm 離して位置付ける必要があります。
2. 矢印を上に向けながら、ウォール・マウントをパイロット穴上にかぶせるように位置付けます。
3. 支給の2本の#7 木製ネジ (◆) でウォール・マウントを壁に固定してください。

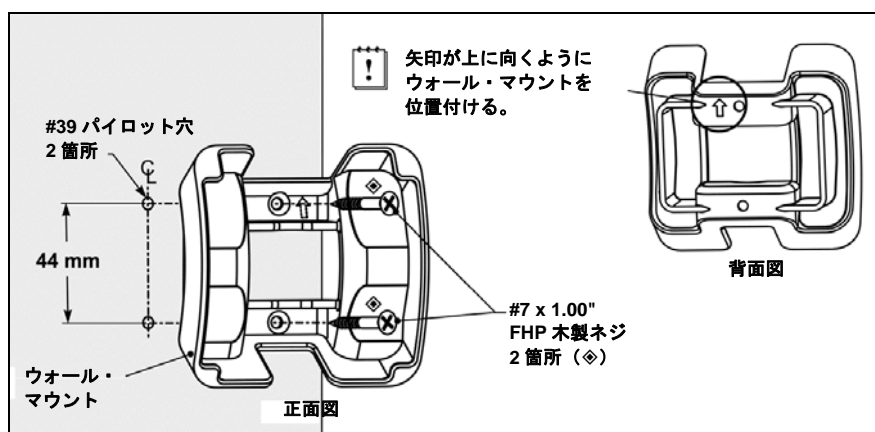


図 12

4. ウォール・マウント上側のコーナータブの下にユニットのベースを滑らせます。
5. ベースの残りの部分を滑らせてコーナータブの内側に入れ、下方に滑らせ、ベースが下側のコーナータブの後ろに来るようにします。

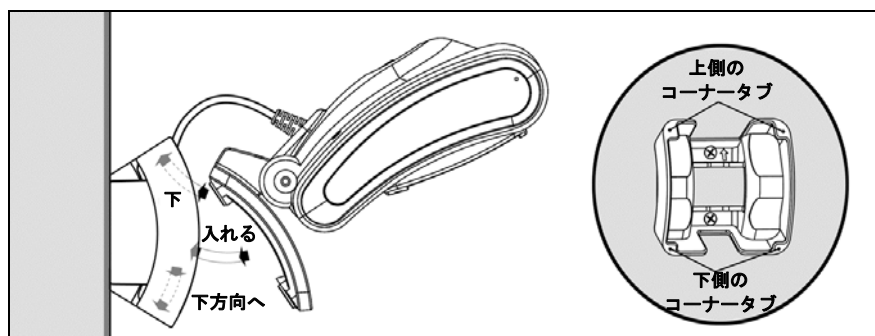


図 13

## エリア・イメージャの操作

---

### 操作モード

MS7580 は、バーコードを読取るため、「自動起動」読取りと「手動起動」読取りという 2 つの標準操作モードをサポートしています。自動起動モードでの読取りは、パススルー♦またはプレゼンテーションという 2 つの設定可能なオプションのいずれかで行えます。パススルーおよびプレゼンテーションの両オプションはデフォルトで有効化されています♦♦。デフォルト設定の場合、スキャナは、300 ms 間パススルー状態で動作した後、さらなるデコード機能のためにプレゼンテーション状態に変更されます。

異なる動作モードおよびスキャナ状態は次のとおりです。

#### 自動起動モード

##### パススルー読取り♦

- 1D および PDF バーコードをデコードします。
- 読取り方法：
  1. バーコードを有効な読取りエリアに通過させ、データの読取り、デコード、送信を行います。

##### プレゼンテーション読取り

- 1D、PDF および 2D の全マトリクス・コードをデコードします。
- 読取り方法：
  1. IR 検知範囲に物体を置きます。
  2. 有効な読取りエリア内のスキャン・ウィンドウの正面に物体のバーコードをかざし、データの読取り、デコード、送信を行います。

- ♦ MS7580 は、パススルー機能の動作に 12V の電力が必要です。
- ♦♦ 最適な読取り性能のために、メトロロジック社が推奨するデフォルト設定

## エリア・イメージの操作

### 手動起動◇

- 1D、PDFおよび 2Dの全マトリクス・コードをデコードします◇◇。
- 読取り方法：
  1. ボタンを 1 回押して、リニア・ターゲット機能を起動してください。
  2. リニア・ターゲット線を目的のバーコード上に合わせます。



1D バーコードを読取る際、バーコードは正しい方向でスキャナにかざさなければなりません。図 14 を参照してください。



正しい 間違い  
図 14. 1D バーコードの向き

PDF および 2D の各マトリクス・コードはどの向きでもかざすことができます。

3. ボタンを 2 度押してデータのデコードと送信を行ってください。
4. デフォルトの時間経過またはボタンの 2 回押しによって、ユニットはデフォルトのプレゼンテーション・モードに戻ります。



メトロロジック社が提供するライセンス番号を使用することで、ユニットのデコード等の機能が制限されます。ユニットは、適切なライセンスがなければ、PDF、2D、OCR フォントのデコード機能など、主要な機能をサポートしません。必要なライセンスは、購入時に指定するか、詳細についてメトロロジック社の担当者にご連絡ください。標準的なモデルは、1D、PDF、2D の全バーコードの読取り機能を備えて出荷されます。OCR フォントはデフォルトでは無効化されており、追加の費用で特に要求しなければなりません。

- ◇ スキャナ設定バーコードは手動起動モードが必要です。
- ◇◇ 2Dマトリクス・バーコード・タイプは、手動起動モードにおいてはデフォルトで有効化されていません。コード・タイプの有効化の詳細については、エリア・イメージ補足設定ガイド(の 3 ページ) を参照してください。

## エリア・イメージャの操作

---

### 音声表示

MS7580 の操作中、音声表示のフィードバックが行われます。これらのブザー音はスキヤナの状態を示します。ブザー音の音調は、8 種類の設定が可能です（通常音、6 種類の交互音、およびブザー音なし）。ブザー音の変更は、MetroSelect® Single-Line設定ガイド (MLPN 00-02544) もしくはMetroSet2 のヘルプ・ファイルを参照してください。

#### 1 回のブザー音

スキヤナが正常にバーコードを読取った場合、ユニットは、ブザー音を 1 回鳴動させ、白色 LED が点滅し、データが正常に転送されたことを示します。

有効な読取りエリアに物体がかざされていない場合は、青色 LED が低輝度状態に戻ります。

スキヤナでブザー音が 1 回も鳴動せず、白色 LED も点滅しない場合は、バーコードが正常に読取られていません。

#### 短い異常音

これは失敗の表示です（20 ページの「失敗モード」を参照してください）。

#### 長い異常音

これは失敗の表示です（20 ページの「失敗モード」を参照してください）。

#### 3 回のブザー音 - 電源投入時

MS7580 が電力を最初に受け取ると、初期化シーケンスが開始されます。白色 LED と青色 LED が約 3 秒間交互に点滅を繰り返します。スキヤナの初期化が完了すると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、白色 LED が 3 回点滅し、スキヤナが使用できる状態になったことを示します。

#### 3 回のブザー音 - 設定モード

設定モードに入ると、ブザー音が 3 回鳴ると同時に、ユニットの白色 LED が点滅します。このモードでは、白色 LED と青色 LED が継続的に点滅を繰り返します。設定モードが終了すると、スキヤナは 3 回ブザー音を鳴らし、LED は点滅しなくなります。

3 回のブザー音は、通常の読取りモードにおける通信タイムアウトを意味するように設定することもできます。

ワン・コード・プログラミングを使用すると、スキヤナはブザー音を 3 回鳴動させます。すなわち、通常の音調で音が鳴り、短いポーズの後に、高音と低音のブザー音が鳴ります。これは、スキヤナが 1 つの設定バーコードで設定されたことを示します。

## エリア・イメージャの操作

### 視覚表示

スキャナには、そのユニット最上部のボタンの周囲に青色 LED と白色 LED が付いています。スキャナに電源が投入されている時、LED の輝度、LED の点滅または静止状態は現在のスキャンおよび診断スキャナの状態を示します。

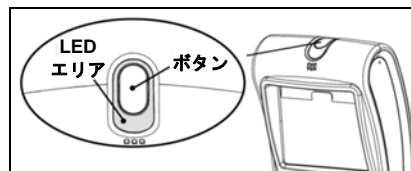


図 14

#### LED が点灯していない場合

スキャナがホストや変圧器から電力を受信していない場合は、LED が点灯しません。

#### 低輝度な青色 LED が点灯

スキャナはスタンバイ・モードです。バーコードをスキャナにかざすと、IR が物体を検知したとき、青色 LED が高輝度な青に切り替わります。

#### 高輝度な青色 LED が点灯

高輝度な青色 LED が点灯するのは、スキャナが起動され、バーコードのデコードを試みている場合です。

#### 白色 LED が 1 回点滅

スキャナがバーコードを正常に読取ると、ユニットはブザーを 1 回鳴動させ、白色 LED が 1 回点滅し、データが正常に転送されたことを示します。有効な読取りエリアに物体がかざされていない場合は、青色 LED が低輝度状態に戻ります。

スキャナでブザー音が 1 回も鳴動せず、白色 LED も点滅しない場合は、バーコードが正常に読取られていません。

#### 白色 LED が点灯

スキャナが正常にバーコードを読取ると、ユニットはブザーを 1 回鳴動させ、白色 LED が 1 回点滅し、データが正常に転送されたことを示します。



スキャンが正常に終了した後、スキャナはホスト装置にデータを送信します。一部の通信モードでは、ホストがデータを受信できる準備ができていることをスキャナに知らせる必要があります。ホストが情報を受け取る準備ができていない場合、データを転送できるようになるまで、スキャナの白色 LED が点灯したままになります。

#### 白と青の LED が交互に点滅

これは、スキャナが設定モードであることを意味します。短い異常音は、このモード中に不正なバーコードが読取られたことを示します。

## エリア・イメージャの操作

---

### 失敗モード

#### 長い異常音—電源投入中

スキャナの初期化または設定が失敗しました。再設定後にスキャナが応答しない場合、スキャナを修理のために返却してください。

#### 短い異常音—スキャン中

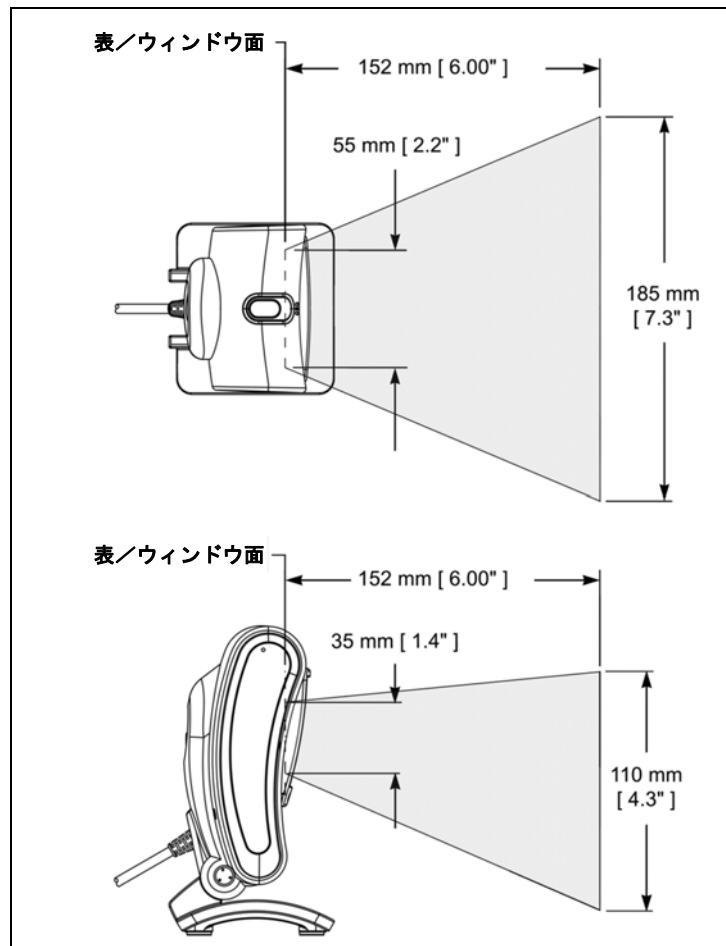
設定モードで不正なバーコードが読取られています。



## エリア・イメージャの操作

---

### 視野



# エリア・イメージャの操作

## 最小バーコード・エレメント幅別読取深度

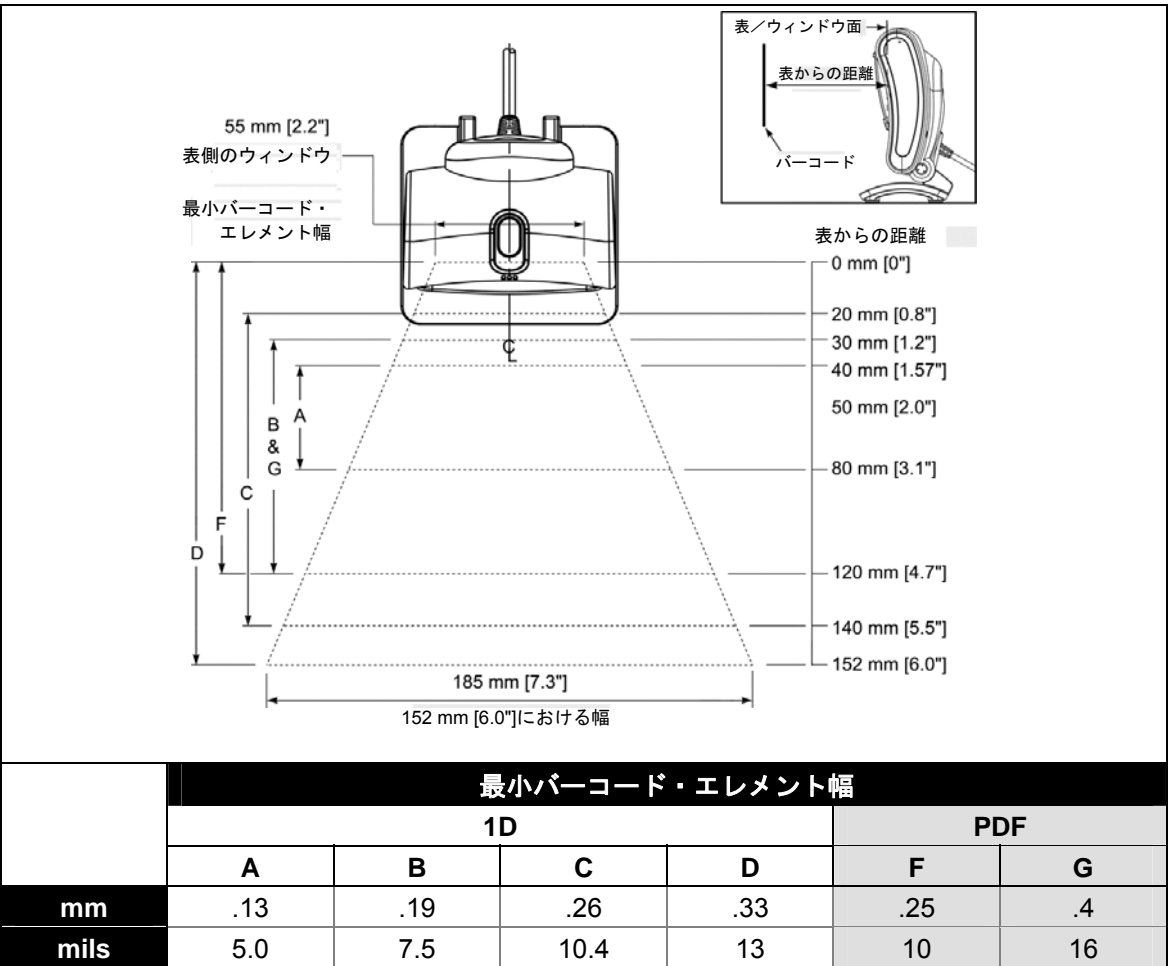


図 15. 最小バーコード・エレメント幅別読取深度

標準的なモデルは、1D、PDF および 2D の全バーコードの読取り機能を備えて出荷されます。しかし、メトロロジック社が提供する正当な制限付きライセンスがなければ、デコード機能等は制限され、ユニットは PDF、2D または OCR フォントのデコード機能など主要な機能をサポートしません。標準ユニットに含まれていないいくつかの主要な機能の制限付きライセンスを購入したい場合は、購入時に指定するか、詳細についてメトロロジック社の担当者にご連絡ください。

仕様は予告なしに変更される場合があります。

## エリア・イメージャの操作

---

### IR 検知

MS7580 は、物体をスキャナの IR 検知エリア内にかざすと、スキャナを瞬時に起動する物体検知センサを内蔵しています。

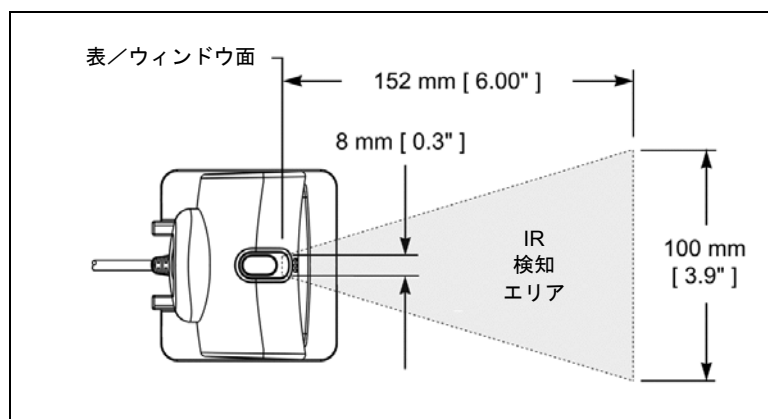


図 16. IR 検知エリア

仕様は予告なしに変更される場合があります。

## トラブルシューティングガイド

次のガイドは、参照目的のみの掲載です。限定保証条件を維持するには、メトロロジック社の担当者（1-800-ID-METRO または 1-800-436-3876）にご連絡ください。

### すべてのインターフェース

症状	起こりうる原因	解決方法
LED、ブザー音、 レーザー光なし	スキャナに電力が供給されていない。	変圧器、コンセント、パワー・プラグをチェックします。ケーブルがスキャナに差し込まれていることを確かめてください。
	ホストからスキャナに電力が供給されていない。	一部のホスト・システムは MS7580 に十分な電力を供給できません。電源が必要となることがあります。
電源投入時の長い異常音	スキャナ設定の不具合	保存する設定をユニットが保持しない場合は、メトロロジック社のサービス担当者にご連絡ください。
	診断の不具合	ユニットが機能しない場合は、メトロロジック社のサービス担当者にご連絡ください。
設定モードの終了時に長い異常音	新しい設定保存の不具合	スキャナの再設定してください。保存する設定をユニットが保持しない場合は、メトロロジック社のサービス担当者にご連絡ください。
長い異常音	読取り機構の不具合	メトロロジック社のサービス担当者にご連絡ください。
設定モードで短い異常音	無効なバーコードが読取られた。	有効なバーコードを読取るか、設定モードを終了してください。

## トラブルシューティングガイド

症状	起こりうる原因	解決方法
ユニットは電源が投入されているが、バーコードを読取ってもブザー音が出ない。	ブザー音が無効化されており、音調が選択されていない。	ブザー音を有効化し、音調を選択してください。
ユニットは電源が投入されているが、読取りもせず、ブザー音も出ない。	読取りが試みられているバーコード体系が有効化されていない。	UPC/EAN、Code 39、interleaved 2of 5、Code 93、Code 128、Codebar および PDF がデフォルトで有効化されています。読取るバーコード・タイプが選択されているかどうか確認してください。
ユニットは電源が投入されているが、読取りもせず、ブザー音も出ない。	スキャナが読取りを試みているバーコードが、設定された基準に合っていない。	スキャン対象のバーコードが、設定された基準に合っているかどうかを確認してください（すなわち、キャラクタ長ロックあるいは最小のバーコード長の設定）。
次の項目は、RS232 およびシリアル USB の各インターフェースにのみ該当します。		
ユニットはバーコードを読取るが、1 回目のスキャン後にロックし、白色 LED が点灯したままになる。	スキャナは一部のホスト・ハンドシェイク形式をサポートするように設定されているが、信号を受信していない。	スキャナが ACK/NAK、RTS/CTS または XON/XOFF をサポートするように設定されている場合、ホスト・ケーブルとホストがハンドシェイクを適切にサポートしているか確認してください。
ユニットは読取りを行うが、ホストに送信されるデータが正しくない。	スキャナのデータ・フォーマットがホスト・システム要件に合っていない。	スキャナのデータ・フォーマットがホストの要求するものと一致しているか確認してください。スキャナが適切なホスト・ポートに接続されているか確認してください。

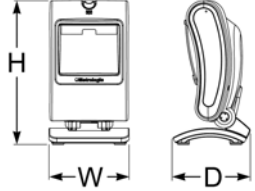
## トラブルシューティング・ガイド

症状	起こりうる原因	解決方法
ユニットはいくつかのバーコードではブザー音を鳴動するが、同じコード体系の他のバーコードにはブザー音が出ない。	バーコードの印刷品質に問題がある可能性がある。	チェック・ディジット／キャラクタ／境界の問題かどうかを確認してください。
	スキャナがこのタイプのバーコードに正しく設定されていない。	チェック・ディジットが適切に設定されているかどうか確認してください。
	最小のシンボル長設定がバーコードには合わない。	適切な最小シンボル長が設定されているかどうかを確認してください。
ユニットはバーコードを読取るが、データがない。	正確な設定がされていない。	スキャナが適切なモードに設定されているか確認してください。
次の項目は、キーボード・インターフェースにのみ該当します。		
ユニットはバーコードを読取るが、データが正しくない。	正確な設定がされていない。	適切な PC タイプ (AT または PS2) が選択されているか確かめます。正しい国コードとデータ・フォーマットが選択されていることを確認してください。インター・キャラクタ・ディレー現象を調整してください。
ユニットが各キャラクタを2回送信する。	正確な設定がされていない。	インタースキャン・コード・ディレー設定値を増やしてください。F0 ブレークが送信されるように調整します。両方の設定でこれを試す必要があるかもしれません。
アルファベット文字が小文字で表示される。	コンピュータが Caps Lock モードになっている。	スキャナの Caps Lock 検知設定を有効化し、PC が Caps Lock で動作しているかどうかを検知させてください。
2～3のキャラクタを除いて、すべて正常に動作する。	その国のキー・ルック・アップ表でそのキャラクタがサポートされていない可能性がある。	スキャナを Alt モードで動作するよう試みてください。

## トラブルシューティングガイド

症状	起こりうる原因	解決方法
ユニットは読取るが、データが正しくない。	スキャナとホストが同じインターフェース・パラメータで設定されていない可能性がある。	スキャナとホストが同じインターフェース・パラメータで設定されていることを確認してください。
次の項目は、RS232 インターフェースにのみ該当する。		
ユニットは正常に電源が投入され、読取りにも問題がないが、ホストと適切に通信しない。	ホストの Com ポートが作動していないか、設定が適切にされていない。	スキャナおよび通信ポートのボーレートとパリティが合っているかと、プログラムが「RS-232」データを探しているかどうかを確認してください。
ユニットは正常に電源が投入され、読取りにも問題がないが、ホストと適切に通信しない。	ケーブルが適切な com ポートに接続されていない。	ケーブルが適切な com ポートに接続されているかどうかを確認してください。
キャラクタが桁落ちする。	送信出力にインター・キャラクタ・ディレーを追加する必要がある。	設定ガイド（MLPN 00-02544 および 00-05252）を使用して送信出力にインター・キャラクタ・ディレーを追加してください。
次の項目は、USB インターフェースのみに該当します。		
LED、ブザー音、レーザー光なし	USB ホストが稼動していない可能性がある。 MS7580 は、ホスト通信がない限り、ハブ／ホスト電力で動作しない。	ホスト装置に電源を投入してください。
	ユニットが操作をサポートするのに十分な電力を受信していない。 29 ページの電氣的仕様を参照してください。	スキャナに十分な電力が供給されているかどうかを確認してください。

## 設計仕様

MS7580 設計仕様		
動作仕様		
光源：	LED 645 nm±7.5 nm	
パルス時間：	最高 500 μs（デフォルト）	
Osram LED の最大出力：	最大 85 mA で 3,120 mlm を放射	
読取深度：	0.33 mm（13 mil）の場合は、0 mm - 152 mm（0" - 6"）	
視野：	表面／ウィンドウで、55 mm x 35 mm（2.2" x 1.4"）	
	表面から 152 mm（6"）では、185 mm x 110 mm（7.3" x 4.3"）	
最小エレメント幅：	1D	0.1 mm（4 mil）
	2D	0.254 mm（10 mil）
解像度：	1280 x 768 ピクセル	
IR 検知：	0 mm（0"）表～152 mm（6"）	
オプションのデコード およびイメージ機能：	1-D、RSS、PDF417、microPDF、MaxiCode、Data Matrix、QR Code、UCC、EAN Composites、Postals、Aztec といったすべての標準を自動識別  （画像転送） - USB および RS232 の各インターフェース上での BMP、TIFF または JPEG 出力	
システム・ インターフェース：	PS2 キーボード・インターフェース、RS232、RS485、USB	
印刷濃度：	最低でも 20%の反射率差	
読取キャラクタ数：	最大 4096 バイト	
ブザー音操作：	7 種類の音調またはブザー音なし	
表示灯（LED）の デフォルト設定：	高輝度青	ユニットが動作しておりスキャンを試みている
	低輝度青	ユニットがスタンバイ
	白	読取良好
機械仕様		
高さ（H）：	150 mm（5.91"）	
幅（W）：	83 mm（3.27"）	
深さ（D）：	80 mm（3.15"）	
重量：	340 g（12 oz.）	
終端：	10 ピン・モジュラー RJ45	

仕様は予告なしに変更される場合があります。



## 設計仕様

		MS7580 設計仕様	
電気仕様			
		+12 ボルト アダプタ値	+5 ボルト USB 電力値
入力電圧：		12VDC±0.25V	5VDC±0.25V
電力：	ピーク◆	3.1 W（通常）	2.0 W（通常）
	動作	2.3 W（通常）	1.8 W（通常）
	スタンバイ	1.7 W（通常）	1.6 W（通常）
電流：	ピーク◆	260 mA（通常）	408 mA（通常）
	動作	192 mA（通常）	362 mA（通常）
	スタンバイ	142 mA（通常）	322 mA（通常）
	◆ 幅が少なくとも 1 msのピーク値		
DC 変圧器：	クラス 2、12VDC @ 1.25 A		
法令遵守情報については、37～39 ページを参照			
環境			
温度：	動作	0℃～40°（32°～104°F）	
	保管	-40℃～60℃（-40°F～140°F）	
湿度：	0%～95%の相対湿度、結露なし		
照度：	最高 50,000 ルクス		
衝撃：	1.5 m（5'）からの落下に耐久性があるように設計		
汚染：	大気中浮遊粒子状汚染物質を防止するように密閉		

仕様は予告なしに変更される場合があります。

## アプリケーションとプロトコル

各スキャナのモデル番号には、スキャナ番号とデフォルトの通信プロトコルが含まれます。

スキャナ	バージョン 識別子	通信プロトコル（複数可）
MS7580	118	<p>以下のインターフェースがサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• RS232 (TXD<sup>◆</sup>、RXD、RTS<sup>◆</sup>、CTS)</li> <li>• RS485</li> <li>• USB<sup>◆◆</sup></li> <li>• キーボード・インターフェース</li> </ul>
<p>◆ TXDおよびRTSはTTLレベルで送信されます。追加のRS232 オプションについては、メトロロジック社の顧客サービス担当者にご連絡ください。</p> <p>◆◆ USBはキーボード・エミュレーション・モード、双方向シリアル・エミュレーション・モードまたはIBM OEMに設定可能です。USBのデフォルト設定は、キーボード・エミュレーション・モードとなっています。</p>		

PC キーボード・インターフェース内臓の MS7580 は、キーボード・エミュレーションの使用のみを目的として設計されています。メトロロジック社の他のスキャナで利用できる RS232 の多くの設定可能な機能は、キーボード・インターフェース機能としても使用できます。

下記はキーボード・インターフェースに固有な最も重要な選択オプションです。

### キーボード・タイプ

- \*AT (includes IBM<sup>®</sup> PS2 models 50, 55, 60, 80)
- IBM PS2 (includes models 30, 70, 8556)

### キーボード国別タイプ

- \*米国
- イタリア
- スイス
- ベルギー
- 日本
- スイス／フィンランド
- フランス
- ロシア語キリル文字
- トルコ
- ドイツ
- スロベニア
- 英国
- ハンガリー
- スペイン

\* デフォルト設定を示します。デフォルト設定値の変更については、MetroSet2 のヘルプ・ファイル、MetroSelect<sup>®</sup> Single-Line設定ガイドまたはエリア・イメージ補足プログラム・ガイドを参照してください。

## 設定モード

---

MS7580 には、次の 3 つの設定モードがあります。

- **バーコード**

MS7580 は、エリア・イメージと共に出荷される Metrologic Single-Line 設定ガイドまたはエリア・イメージ補足プログラム・ガイドに記載のバーコードを読み取ることで設定できます。

これらのマニュアルは、メトロロジック社の web サイト（[www.metrologic.com](http://www.metrologic.com)）から無償でダウンロード可能です。

- **MetroSet2**

この使い勝手のよい Windows ベースの設定プログラムを使用すると、必要なスキャナ・オプションを簡単に「ポイントアンドクリック」できます。この設定プログラムは、メトロロジック社の web サイト（[www.metrologic.com](http://www.metrologic.com)）から無償でダウンロードするか、1-800-ID-METRO に電話をかけてセットアップ・ディスクを注文することが可能です。

- **シリアル・プログラミング**

この設定モードはOEMアプリケーションに最適です。このモードによって、エンドユーザーはホスト・システムのシリアル・ポートを使用して一連のコマンドを送信できます。コマンドは、MetroSelect® Single-Line設定ガイド（MLPN 00-02544）に記載のバーコードの数値に等価です。

## ファームウェアのアップグレード

---

MS7580 は、ファームウェアのフラッシュアップグレードが可能なメトロロジック社のスキャナ製品群の一部です。アップグレードには、顧客サービス担当者♦によって顧客に支給される新しいファームウェアおよびメトロロジック社のMetroSet2 ソフトウェア♦♦が必要です。RS232 シリアル・ポートまたはUSBポートが使用できるWindows 95 以上を実行しているPCはアップグレードを行う必要があります。



ファームウェアのアップグレードには、キーボード・インターフェースまたは RS485 MS7580 インターフェースのキットとともに提供される標準的なケーブルを使用してはなりません。アップグレード・プロセスに USB または RS232 を使用する場合は、スキャナとともに提供される標準的な USB ケーブルまたは RS232 ケーブルを使用できます。

MS7580 内のファームウェアをアップグレードするには、

1. スキャナをホスト・システム上のシリアル通信ポートに差し込んでください。
2. MetroSet2 ソフトウェアを起動します。
3. [POS Scanner] の隣のプラス記号 (+) をクリックしてサポートされるスキャナ・リストを拡大してください。
4. リストから MS7580 Genesis を選択してください。
5. [Configure Genesis/7580 Scanner] ボタンをクリックしてください。
6. 画面の左側にあるオプション・リストから [Flash Utility] を選択します。
7. [Flash Utility] ウィンドウにある [Open File] ボタンをクリックしてください。
8. メトロロジック社から支給されるフラッシュ・アップグレード・ファイルを見つけ、開きます。
9. スキャナをホスト・システムに接続する COM ポートを選択してください。
10. 設定値が [Flash Utility] ウィンドウにリストされていることを確認します。
11. [Flash Scanner] ボタンをクリックしてフラッシュ・アップグレードを開始してください。
12. アップグレードが完了すると、メッセージが画面上に現れます。

- ♦ メトロロジック社の顧客サービス部門へは、1-800-ID-METROまたは 1-800-436-3876 で連絡可能です。
- ♦♦ MetroSet2 は、次のサイトから無償でダウンロードできます：  
<http://www.metrologic.com/corporate/download>

## スキャナおよびケーブル端子

### スキャナのピン・アサインメント

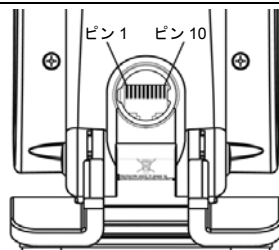


図 17. MS7580 の背面／コネクタ図

RS232◆		キーボード・インターフェース◆	
ピン	機能	ピン	機能
1	信号／パワー・グラウンド	1	信号／パワー・グラウンド
2	CTS/DTR 入力	2	ケーブルのピン 3 に接続
3	RS232 受信入力	3	ケーブルのピン 2 に接続
4	未接続	4	PC データ
5	未接続	5	PC クロック
6	RTS 出力◇	6	KB クロック
7	未接続	7	+5VDC PC キーボード電源
8	RS232 送信出力◇	8	KB データ
9	AC アダプター電源	9	AC アダプター電源
10	シールド・グラウンド	10	シールド・グラウンド
シェル	信号／パワー・グラウンド	シェル	信号／パワー・グラウンド

RS485◆		USB◆◆	
ピン	機能	ピン	機能
1	信号／パワー・グラウンド	1	信号／パワー・グラウンド
2	ケーブルのピン 6 に接続	2	ケーブルのピン 4 に接続
3	未接続	3	未接続
4	IBM A+	4	ケーブルのピン 2 に接続
5	IBM B-	5	未接続
6	ケーブルのピン 2 に接続	6	USB D+
7	未接続	7	+5VDC USB 電源
8	未接続	8	USB D-
9	AC アダプター電源	9	AC アダプター電源
10	シールド・グラウンド	10	シールド・グラウンド
シェル	信号／パワー・グラウンド	シェル	信号／パワー・グラウンド


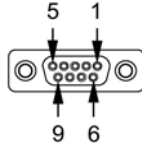
◆ RS485、RS232 およびキーボード・インターフェースは操作に 12Vの電力が必要です。


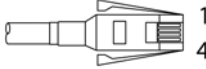
◆◆ USBは、パススルー機能に 12Vの電力が必要です。

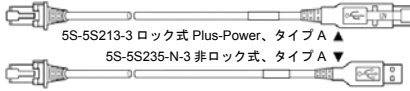

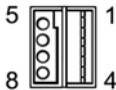
◇ ピン 6 および 8 の信号は、TTL レベルの RS232 出力信号です。

スキャナおよびケーブル端子

ケーブル・コネクタの設定（ホスト端）



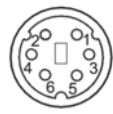
RS232、12V VLink ケーブル 5S-5S000-3		
ピン	機能	 <p>9 ピンメス、D タイプ</p>
1	シールド・グラウンド	
2	RS232 送信出力	
3	RS232 受信入力	
4	未接続	
5	信号／パワー・グラウンド	
6	予約	
7	CTS 入力	
8	RTS 出力	
9	+12VDC	

RS485、 5S-5S006-N-3		
ピン	機能	 <p>SDL A キー接続</p>
1	信号／パワー・グラウンド	
2	IBM A+	
3	IBM B-	
4	+12VDC	



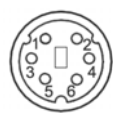
USB 5S-5S213-3 または 5S-5S006-N-3				
ピン		機能	5S-5S235-N-3	5S-5S213-3
タイプ A 非ロック式	タイプ A ロック式 Plus-Power		 <p>USB タイプ A 非ロック式</p>	 <p>USB タイプ A ロック式 Plus-Power</p>
1	1	PC +5V/V_USB		
2	2	D-		
3	3	D+		
4	4	グラウンド		
	5	グラウンド		
	6	+12VDC		
	7-8	未接続		

## スキャナおよびケーブル端子

### ケーブル・コネクタの設定（ホスト端）

キーボード・インターフェース VLink ケーブル 5S-5S002-3		
ピン	機能	 5 ピン DIN、メス
1	キーボード・クロック	
2	キーボード・データ	
3	未接続	
4	パワー・グラウンド	
5	+5VDC	
ピン	機能	 6 ピン DIN、メス
1	PC データ	
2	未接続	
3	パワー・グラウンド	
4	+5VDC	
5	PC クロック	
6	未接続	

メトロロジック社は、一方の端に 5 ピン DIN オス・コネクタともう一方の端に 6 ピン・ミニ DIN メス・コネクタを備えたアダプタ・ケーブルを支給します。終端要件に従って、アダプタ・ケーブルの該当する端を VLink ケーブルに接続し、必要な端子をキーボードおよび PC 上のキーボード・ポートとの接続に使用できるようにしてください。

ケーブル 5S-5S002-3 とともに支給される キーボード・インターフェースの アダプタ・ケーブル		
ピン	機能	 5 ピン DIN、オス
1	PC クロック	
2	PC データ	
3	未接続	
4	パワー・グラウンド	
5	+5VDC	
ピン	機能	 6 ピン・ミニ DIN、メス
1	キーボード・データ	
2	未接続	
3	電力グラウンド	
4	+5VDC	
5	キーボード・クロック	
6	未接続	

## 限定保証

MS7580 Genesis™は、中国の蘇州にある事業所でメトロロジック社が製造しています。MS7580 Genesis スキャナは製造日付から 1 年間の限定保証付きです。メトロロジック社は、全 MS7580 Genesis スキャナが材質、製造、および設計において欠陥のないこと、および生産とラベル表示に関する米国連邦政府、州および市の該当するあらゆる法律、規則、法令に従って生産およびラベル表示が行われていることを保証し表明します。

本保証書は、メトロロジック社の独自の判断による製品の修理、交換または製品価格の返却に制限されます。故障した製品は、ブラックウッド（米国）、ニュージャージー（米国）、マドリッド（スペイン）または蘇州（中国）にある事業所のいずれかに返送しなければなりません。返却の場合は、メトロロジック社の顧客サービス／修理部門に連絡し、返却材料承認番号（RMA: Returned Material Authorization）を取得してください。

本保証が機器の故障に適用されると判断された場合、メトロロジック社は、その独自の判断により、本製品を修理するか、正常に機能するユニットとの本製品と交換するため、そのような修理または交換される製品を、修理費または輸送費を請求することなく、販売代理店、ディーラー／再販業者あるいは小売店に返却するか、または元の購入価格に相当する金額を返却するものとします。

メトロロジック社が、本製品の乱用、誤用、怠慢、不適切な取付もしくは事故、または本製品の機械的、電気的、コンピューター・システムとの併用または誤用による損傷が発生したと独自に判断した場合、本限定保証は適用されません。保証が無効となるのは、(i) メトロロジック社の修理部門や公認の修理センター以外の手によって製品の内部が開けられた場合、(ii) メトロロジック社が承認したソフトウェア・プログラム以外のソフトウェアが製品にインストールされている場合です。

本限定保証書は、所有権を除いて、明示・暗示を問わず、あらゆる保証または約束事に代わるものであり、統一商法典の元でのもしくは習慣または行為から生じる商品適合性および特定目的への適合性に関する保証を特に除外します。本書に規定される権利および救済は排他的であり、その他のいかなる権利あるいは救済にも代わります。メトロロジック社はいかなる場合も、間接的もしくは派生的な損害、偶発的な損害、人もしくは財産に対する損害、事業もしくは財産への影響、またはその他の製品に対する直接的もしくは間接的な損害もしくは経費に対しても、この保証の中で記述された以外は一切責任を負わないものとします。また、いかなる場合も、メトロロジック社の損害賠償額は、メトロロジック社へ実際に支払われた金額を超えないものとします。メトロロジック社は、本書に記述の製品に対しいかなる変更をも加える権利を留保します。

**Corporate Headquarters, North America**  
**Metrologic Instruments, Inc.**  
90 Coles Rd.  
Blackwood, NJ 08012-4683  
Customer Service Department  
Tel: 1-800-ID-METRO  
Fax: 856-228-6673  
Email: [info@metrologic.com](mailto:info@metrologic.com)

**Metrologic European Repair Center (MERC)**  
**Metrologic Eria Ibérica, SL**  
C/Alfonso Gomez, 38-40, 1D  
28037 Madrid  
Tel: +34 913 751 249  
Fax: +34 913 270 437

**MTLG Auto ID Instruments (Shanghai) Co., Ltd**  
**Suzhou Sales Office**  
BLK A, Room# 03/03-04  
No.5 Xinghan Street, Xinsu Industrial Square  
China-Singapore Suahou Industrial Park, Suzhou, PRC  
Tel: 86-512-67622550  
Fax: 86-512-67622560  
Email: [info@cn.metrologic.com](mailto:info@cn.metrologic.com)



## 法令遵守

---

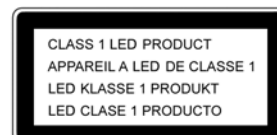
### 安全性

#### ITE 装置

IEC 60950-1、EN 60950-1

#### LED

クラス 1 LED 製品 : IEC 60825-1:1993+A1+A2、  
EN 60825-1:1994+A1+A2



#### 注意

本書に記載された以外の制御の使用、調節、手順の実行により、危険な放射暴露につながる可能性があります。顧客は、いかなる状況においても、LED スキャナの修理を試みてもなりません。スキャナが作動していないように思われる場合でも決して LED 光線を直接見ようとししないでください。また、スキャナ内部を調べる目的で装置を開けてはなりません。このような行為により危険な放射暴露が発生する可能性があります。LED 装置を備えた光学器具の使用は、目に対する危険性が増加することになります。

#### Caution

Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. Under no circumstances should the customer attempt to service the LED scanner. Never attempt to look at the LED beam, even if the scanner appears to be nonfunctional. Never open the scanner in an attempt to look into the device. Doing so could result in hazardous radiation exposure. The use of optical instruments with the LED equipment will increase eye hazard.

#### Atención

La modificación de los procedimientos, o la utilización de controles o ajustes distintos de los especificados aquí, pueden provocar una exposición de luz brillante peligrosa. Bajo ninguna circunstancia el usuario deberá realizar el mantenimiento del LED (Diodo Emisor de Luz) del lector. Ni intentar mirar al haz del LED incluso cuando este no esté operativo. Tampoco deberá abrir el lector para examinar el aparato. El hacerlo puede conllevar una exposición peligrosa a la luz del LED. El uso de instrumentos ópticos con el equipo LED puede incrementar el riesgo para la vista.

#### Attention

L'emploi de commandes, réglages ou procédés autres que ceux décrits ici peut entraîner de graves irradiations. Le client ne doit en aucun cas essayer d'entretenir lui-même le scanner ou la LED. Ne regardez jamais directement le rayon LED, même si vous croyez que le scanner est inactif. N'ouvrez jamais le scanner pour regarder dans l'appareil. Ce faisant, vous vous exposez à un risque d'irradiation. L'emploi d'appareils optiques avec cet équipement à LED augmente le risque d'endommagement de la vision.

#### Achtung

Die Verwendung anderer als der hier beschriebenen Steuerungen, Einstellungen oder Verfahren kann eine gefährliche Licht emittierender Dioden strahlung hervorrufen. Der Kunde sollte unter keinen Umständen versuchen, den Licht emittierender Dioden-Scanner selbst zu warten. Sehen Sie niemals in den Licht emittierender Diodenstrahl, selbst wenn Sie glauben, daß der Scanner nicht aktiv ist. Öffnen Sie niemals den Scanner, um in das Gerät hineinzusehen. Wenn Sie dies tun, können Sie sich einer gefährlichen Licht emittierender Diodenstrahlung aussetzen. Der Einsatz optischer Geräte mit dieser Laserausrüstung erhöht das Risiko einer Sehschädigung.

#### Attenzione

L'utilizzo di sistemi di controllo, di regolazioni o di procedimenti diversi da quelli descritti nel presente Manuale può provocare delle rischiose esposizioni radiative. Il cliente non deve assolutamente tentare di riparare egli stesso lo scanner LED (o diodo emettitore di luce). Non guardate mai il raggio LED (d. emettitore di luce), anche se credete che lo scanner non sia attivo. Non aprite mai lo scanner per guardare dentro l'apparecchio. Facendolo potete esporvi ad una radiazione rischiosa. L'uso di apparecchi ottici, equipaggiati con raggi LED (d. emettitori di luce), aumenta il rischio di danni alla vista.

## 法令遵守

### EMC

#### エミッション

FCC Part 15, ICES-003, CISPR 22, EN 55022

#### イミュニティ

CISPR 24, EN 55024

法令遵守の責任をもつ当事者によって明示的に承認されていない変更または修正により、装置を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

#### クラス A の装置

次は、スキャナ・ケーブルの長さが完全に延ばした状態で 3 メートル（9.8 フィート）を越える場合に適用されます。

The following is applicable when the scanner cable is greater in length than 3 meters (9.8 feet) when fully extended :

Les instructions ci-dessous s'appliquent aux cables de scanner dépassant 3 mètres (9.8 pieds) de long en extension maximale:

Folgendes trifft zu, wenn das Scannerkabel länger als 3 Meter ist:

本機器は、FCC 規則第 15 部に従って試験され、クラス A のデジタル装置の制限に適合することが確認されています。これらの制限は、機器を商用環境で動作させたときに有害な干渉に対するしかるべき保護を提供するように設計されています。本機器は、無線周波エネルギーを生成および使用しており、無線周波エネルギーを放射する可能性があります。指示書に従って設置および使用しない限り、無線通信に対し電波妨害を発生させる可能性があります。居住エリアにおける本機器の操作は、電波妨害を発生させる可能性が高くなります。その場合、ユーザーはそれ自身の費用で妨害に対処することが必要となります。本機器に認められていない変更または修正を加えることによって、装置を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

本装置は、FCC 規則の第 15 部に適合します。動作には、次の 2 つの条件が適用されます。（1）本装置は妨害電波を発生しない可能性がある。（2）本装置は、好ましくない動作を引き起こす可能性のある妨害電波も含め、受信した妨害電波を受け入れなければならない。

#### 通知

本クラス A のデジタル装置は、カナダ ICES-003 に適合します。

#### Notice

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

#### Remarque

Cet appareil numérique de classe A est conforme à la norme canadienne NMB-003.

#### 欧州規格

##### 警告

本製品は、クラス A の製品です。本製品は、居住環境において無線妨害電波を発生する可能性があります。ユーザーは十分な対策を講ずることが求められることがあります。

#### European Standard

##### Warning

This is a class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

#### Funkstöreigenschaften nach EN55022:1998

##### Warnung!

Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen. In diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Massnahmen durchzuführen.

#### Standard Europeo

##### Attenzione

Questo e' un prodotto di classe A. Se usato in vicinanza di residenze private potrebbe causare interferenze radio che potrebbero richiedere all'utilizzatore opportune misure.

##### Attention

Ce produit est de classe "A". Dans un environnement domestique, ce produit peut être la cause d'interférences radio. Dans ce cas l'utilisateur peut être amené à prendre les mesures adéquates.

## 法令遵守

---

### EMC

法令遵守の責任をもつ当事者によって明示的に承認されていない変更または修正により、装置を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。

#### クラス B の装置

次は、スキャナ・ケーブルの長さが完全に延ばした状態で 3 メートル (9.8 フィート) 未満の場合に適用されます。  
The following is applicable when the scanner cable is less than 3 meters (9.8 feet) in length when fully extended.

Les instructions ci-dessous s'appliquent aux cables de scanner ne dépassant pas 3 mètres (9.8 pieds) de long en extension maximale:

Folgendes trifft zu, wenn das Scannerkabel kürzer als 3 Meter ist:

本装置は、FCC 規則の第 15 部に適合します。動作には、次の 2 つの条件が適用されます。(1) 本装置は妨害電波を発生しない可能性がある。(2) 本装置は、好ましくない動作を引き起こす可能性のある妨害電波も含め、受信した妨害電波を受け入れなければならない。

本機器は、FCC 規則第 15 部に従って試験され、クラス B のデジタル装置の制限に適合することが確認されています。これらの制限は、機器を居住環境に設置したときに妨害電波に対ししかるべき保護を提供するように設計されています。本機器は、無線周波エネルギーを生成および使用しており、無線周波エネルギーを放射する可能性があります。指示書に従って設置および使用しない限り、無線通信に対し電波妨害を発生させる可能性があります。しかし、特定の設置状態において妨害が発生しないことを保証することはできません。本機器が無線またはテレビ受信に対し妨害電波を発生させる場合（このことは装置のオンオフを行って確認する）、ユーザーは次のいずれかの対策により妨害電波の発生をなくすように努めることが推奨されます。

- 受信アンテナの向きを変えるまたは位置を変える。
- 機器とレシーバの距離をあげる。
- レシーバが接続されている回路上のコンセントとは異なる回路上のコンセントに機器を接続する。
- ディーラーまたは経験のある無線/TV 技術者に支援を求める。

#### 通知

本クラス B のデジタル装置は、カナダ ICES-003 に適合します。

#### Notice

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

#### Remarque

Cet appareil numérique de classe B est conforme à la norme canadienne NMB-003.

## 特許

---

本 METROLOGIC 社の製品には、次に記載した 1 つ以上の米国特許が適用されます。

米国特許番号 : 7,086,595、7,128,266、7,213,762、7,216,810、7,225,988、7,225,989

ライセンスまたはサブライセンスは、上記に記載の第三者の特許を含め、METROLOGIC 社および第三者の知的所有権（第三者の権利が METROLOGIC 社にライセンス供与されているかどうかに関わらず）の下で、明示的にも、暗示的にも、禁反言等によっても、一切与えられません。ただし、物理的にユーザーの手に渡った METROLOGIC 社製品によって表現され、同製品に含まれている個々の装置、回路、半導体を、METROLOGIC 社のライセンス権の程度にのみ、本書に記載の諸条件、規約および制限事項に従って、意図した通常の目的に使用するための暗黙的なライセンスは除きます。

他に、全世界的に特許を出願しています。

## 索引

### A

AC ..... 2, 7–11, 29  
Accessories (付属品) ..... 2  
Adapter (アダプタ) ..... 2, 12, 13, 35  
Aperture (孔) ..... 4  
Audible Indicator (音声表示) ..... 19–20, 32  
Automatic Activation Mode (自動起動モード)  
..... 16

### B

Bar Code (バーコード) ..... 22, 24–27, 28, 31  
Beep (ブザー音) ..... 19–20, 24–27, 28, 32  
Blue LED (青色) ..... 4, 7–11, 19–20, 32  
Button (ボタン) ..... 4, 17, 19, 32

### C

Cable (ケーブル) ..... 5  
    Keyboard Wedge (キーボード・インターフェース)  
        ..... 3, 8, 34–35  
    RS232 ..... 3, 7, 34–35  
    RS485 ..... 3, 9, 34–35  
    Termination (終端) ..... 4  
    USB ..... 3, 10, 11, 34–35  
    VLink ..... 2, 3, 7–11, 24–27, 32, 34–35  
Caution (注意) ..... 7–11, 37  
CE ..... 6, 7–11  
Code Type (コード・タイプ) ..... 17, 22, 28  
Compliance (適合) ..... 7–11, 36, 37–39  
Configuration (設定) ..... 24–27, 30, 31, 32  
Connector Pinouts (コネクタのピン・アサインメント) ..... 33  
Current (電流) ..... 29  
Customer Service (顧客サービス) ..... 2, 3, 36

### D

DC ..... 2, 29, 33, 34–35  
Decode (デコード) ..... 28  
Default Parameters (デフォルト・パラメータ)  
..... 30  
Depth of Field (読取深度) ..... 22

### E

EMC ..... 29, 38, 39  
EMI ..... 38  
Emissions (放射) ..... 38, 39

### F

Field of View (視野) ..... 21  
Firmware (ファームウェア) ..... 32  
Flash ROM (フラッシュ) ..... 32

### H

Host (ホスト) ..... 7–11

### I

Immunity (イミュニティ) ..... 38, 39  
Indicator (表示)  
    Audible (音声) ..... 4, 19–20, 28, 32  
    Failure (失敗) ..... 4, 19–20  
    Visual (視覚) ..... 4, 19–20, 28, 32  
Interface (インターフェース) ..... 24–27, 28  
    Cable (ケーブル) ..... 7–11, 34–35  
    Keyboard Wedge (キーボード・インターフェース)  
        ..... 1, 3, 8, 30, 33  
    RS232 ..... 1, 3, 7, 30, 33  
    RS485 ..... 1, 3, 9, 30, 33  
    USB ..... 1, 3, 10, 11, 30, 33  
    IR ..... 1, 16, 23

### K

Keyboard Country Type (キーボード国別タイプ)  
..... 30  
Keyboard Type (キーボード・タイプ) ..... 30  
Keyboard Wedge (キーボード・インターフェース)  
..... インターフェースを参照

### L

Labels (ラベル) ..... 6  
LED ..... 7–11, 24–27, 28  
    Blue (青) ..... 7–11, 19–20  
    White (白) ..... 7–11, 19–20  
License (ライセンス) ..... 17  
Light Levels (照度) ..... 29  
Light Source (光源) ..... 28

### M

Maintenance (メンテナンス) ..... 6  
Manual Activation Mode (手動起動モード) ..... 17  
Manuals (手動) ..... 2  
MetroSelect ..... 31  
MetroSet2 ..... 32

### P

Pass-Through (パススルー) ..... 16  
Patent (特許) ..... 40  
Pinouts (ピン・アサインメント) ..... 33, 34–35  
Power (電力) ..... 7–11, 29, 32  
Power Supply (電源) ..... 5, 7–11  
Presentation (プレゼンテーション) ..... 16  
Protocols (プロトコル) ..... 30

## 索引

---

### **R**

Razz（異常音 Razz） .....	19–20, 24–27
Repair（修理） .....	36
RMA .....	36
RS232 .....	インターフェースを参照
RS485 .....	インターフェースを参照

### **S**

Safety（安全性） .....	37
SELV .....	7–11
Service（サービス） .....	36
Specifications（仕様）	
Electrical（電気） .....	29
Environmental（環境） .....	29
Mechanical（機械） .....	28
Operational（動作） .....	28
Swiftdecoder™ .....	1

### **T**

Tone（音調） .....	19–20
Transformer（変圧器） .....	2, 7–11, 29
Troubleshooting（トラブルシューティング） .....	24–27

### **U**

UL .....	6, 7–11
Upgrade（アップグレード） .....	32
USB .....	インターフェースを参照

### **V**

Ventilation（換気） .....	29
Visual Indicator（視覚表示） .....	19–20, 32
Voltage（電圧） .....	29

### **W**

Wall Mount（ウォール・マウント） .....	12–15
Warranty（保証） .....	36
White LED（白色） .....	4, 7–11, 19–20, 32
Window（ウィンドウ） .....	4, 6

## WORLDWIDE HEADQUARTERS

### Metrologic Instruments, Inc.

90 Coles Rd. Blackwood, NJ 08012-4683 • Email: info@metrologic.com

**CUSTOMER SERVICE TEL: 1-800-ID-METRO • Corporate Tel: 856-228-8100**

**Fax: 856-228-6673 (Sales) • 856-228-1879 (Marketing) • Fax: 856-228-0653 (Legal/Finance)**

#### METROLOGIC - THE AMERICAS

##### USA

##### **Metrologic USA - Headquarters**

Tel: 1.856.537.6400

Fax: 1.856.537.6474

Email: info@us.metrologic.com

##### Mexico

##### **Metrologic Mexico, S.A. DE C.V.**

Tel: 55.5365.6247

Fax: 55.5362.2544

Email: info@mx.metrologic.com

##### South America

##### **Metrologic do Brasil Ltda.**

Tel: 52.55.11.5182.7273

Fax: 52.55.11.5182.7198

Email: info@sa.metrologic.com

##### South America

##### **Metrologic South America**

Tel: 1.239.642.1958

Fax: 1.239.642.1959

Email: info@sa.metrologic.com

#### OMNIPLANAR

##### USA

Tel: 856.374.5550

Fax: 856.374.5576

Email: info@omniplanar.com

#### NOVODISPLAY

##### USA

Tel: 856.537.6139

Fax: 856.537.6116

Email: info@NOVODisplay.com

#### METROLOGIC - EMEA

##### Central Europe

##### **Metrologic Instruments GmbH**

##### **Headquarters**

Tel: 49-89-89019-0

Fax: 49-89-89019-200

Email: info@de.metrologic.com

##### France

##### **Metrologic Eria France SA**

Tel: +33 (0) 1 48.63.78.78

Fax: +33 (0) 1 48.63.24.94

Email: info@fr.metrologic.com

#### METROLOGIC - EMEA

##### Spain

##### **Metrologic Eria Iberica, SL**

Tel: +34 913 272 400

Fax: +34 913 273 829

Email: info@es.metrologic.com

##### Russia

##### **Metrologic Instruments LLC**

Tel: +7 (495) 737 7273

Fax: +7 (495) 737 7271

Email: info@ru.metrologic.com

##### Italy

##### **Metrologic Instruments Italia**

Tel: +39 0 57 6511978 or

+39 051 651 1978

Fax: +39 0 51 6521337

Email: info@it.metrologic.com

##### Poland

##### **Metrologic Instruments**

##### **Poland**

Tel: +48 (22) 545 04 30

Fax: +48 (22) 545 04 31

Email: info@pl.metrologic.com

##### United Kingdom

##### **Metrologic Instruments**

##### **UK Limited**

Tel: +44 (0) 1256 365900

Fax: +44 (0) 1256 365955

Email: info@uk.metrologic.com

#### METROLOGIC - APAC

##### Asia

##### **Metrologic Asia (Pte) Ltd**

##### **Headquarters**

Tel : (65) 6842-7155

Fax : (65) 6842-7166

Email: info@sg.metrologic.com

##### China

##### **Suzhou Sales Office**

##### **Headquarters**

Tel: 86-512-67622550

Fax: 86-512-67622560

Email: info@cn.metrologic.com

##### China

##### **Beijing Sales Office**

Tel/Fax: 86 10 82253472

Email: info@cn.metrologic.com

#### METROLOGIC - APAC

##### China

##### **Chengdu Sales Office**

Tel/Fax: 86 28 86200109

Email: info@cn.metrologic.com

##### China

##### **Guangzhou Sales Office**

Tel: 86-20-38823476

Fax: 86-20-38823477

Email: info@cn.metrologic.com

##### India

##### **India Sales Office**

Tel: +91 80 41256718

Fax: +91 80 41256719

Email: info@in.metrologic.com

##### Korea

##### **Korea Sales Office**

Tel: 82-2-6205-5379

Fax: 82-2-3444-3980

Email:

Scott.lee@kr.metrologic.com

##### Japan

##### **Metrologic Japan Co., Ltd.**

Tel: 81-3-3839-8511

Fax: 81-3-3839-8519

Email: info@jp.metrologic.com

##### Thailand

##### **Metrologic Thailand**

Tel: +662-610-3787

Fax: +662-610-3601

Email:

tawan.jandang@th.metrologic.com

##### China

##### **Shanghai**

Tel: 86-21-58356616

Fax: 86-21-58358873

Email: info@cn.metrologic.com

##### Australia

##### **Metrologic Australia**

Tel: 61 2 9652 2726

(international)

Tel: 02 9816 6470 (local)

Tel: 1 800 99 88 38 (Australia)

Email:

kmason@au.metrologic.com

2008 年 3 月

Printed in the USA



00 - 02290B